

マイクロ波映像で見る三宅島の姿（2）

データ収集：通信総合研究所

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の映像（2001年1月6日観測）からさらに約2ヶ月経過後の映像（2001年3月19日観測）を掲載しました。3つの映像ともに同一観測日ですが、映像が歪んで見えることに注意して下さい。航空機の飛行方向とマイクロ波の照射方向の違いに伴って現れるマイクロ波映像特有の歪を「フォアショートニング（Foreshortening）」、この歪がさらに顕著になって手前に倒れ込んだように見える箇所は「レイオーバー（layover）」と言われています。右上の東側斜面にレイオーバーが見られます。右下には災害現況図（国土地理院作成）を掲載しました。1983年の溶岩流や噴火後の泥流堆積物の分布状況等と映像を比較してみると、様々な知見が得られるはずです。

